特定非営利活動法人
関西芸術文化支援の森

ゆずりは

会報誌 第2号
平成２４年９月１９日発行

ご　あ　い　さ　つ

代表理事　和泉 喜久男

会員の皆様には、お元気でお過ごしのことと思います。

さて、昨年の 10 月に会報誌創刊号を発行して以来、遅くなりましたが、ようやく第２号を発行することができました。これまで様々な団体、個人から演奏会の依頼を受け演奏会を開催してきましたが、お陰様を持ちまして、高い評価を受けるとともに、依頼者からも大変喜んで頂いております。このように順調に様々な演奏会を開催できましたのも会員の皆様のご理解とご支援の賜と厚くお礼申し上げます。

今後はさらに当法人の広報に努め、多くの会員の皆様の出演の機会を得るとともに、ホームページを充実させ、ホームページを通じて出演希望者の登録をしていただき、順次演奏会に出演して頂けるようにしていきたいと思います。現在、定期的には、三宮にありますホテル北野プラザ六甲荘から毎月第二週の金曜日にクラッシックディナーコンサートの依頼を受けています。その他、県立高校、小学校などのさまざまな団体からの演奏の依頼を受け、活動しているところです。今後も引き続き、皆様方の温かいご支援をお願い申し上げ、ご挨拶とします。

ご　挨　拶

県立伊川谷北高等学校長　梶原　愛子

「NPO ゆずりは」が発足して１年が経ち､若人の芸術文化活動の輪も徐々に広がり、活躍の場も増えて参りました。この度「NPO ゆずりは」のお仲間に加えていただき、皆様とご一緒にこのような素晴らしい活動に参加させていただきますことを大変幸甚に存じます。

私は平成１８年度から３年間、県立西宮高等学校に教頭として勤務致しました。音楽科の在校生や卒業生の方々は、恵まれた天賦の才に加え、日々のたゆまぬ努力と真摯な取り組みにより、音楽を通して感性を育み、県立西宮高等学校の特色と豊かな校風の樹立に寄与されていることを実感致しました。

また昨年度は､前任校である県立三田西陵高等学校の「ふれ愛コンサート」に､「NPO ゆずりは」の協力演奏家の方にゲスト出演していただき、PTA や地域の方々と交流の輪を広げ、共に楽しい演奏会を作り上げていただきました。このような経緯で､「NPO ゆずりは」とご縁を結ばせて頂きましたことを、大変うれしく思います。

発足以来、芸術鑑賞会、ミニコンサートやレクチャー形式の催し等、様々な機会での心のこもった素晴らしい演奏と幅広い活動を通じて、音楽の喜びや感動を多くの方々に伝え、絆を結ばれています。これらの活動を支えて下さる会員の皆様に、心より感謝しお礼申し上げます。これからも皆様方のお力を頂きながら、「NPO ゆずりは」をさらに大きく育て飛躍発展させて参りたいと存じます。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

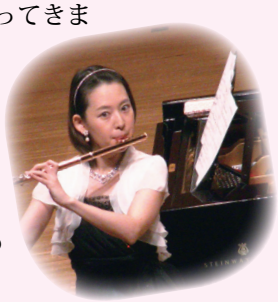
音楽の輪を広げましょう！

「続けること」について

三瀬　直子
（県立西宮高校音楽科８期生・同校講師）

今年の夏はロンドンオリンピックで沸きましたね。４年前、８年前から連続して出場している選手もいましたから、見覚えのある顔ぶれも多く、応援する側もより力が入ったのではないでしょうか。スポーツの世界は、肉体の限界にまで挑戦し、それを本番で発揮するというもので、想像するだけで緊張してしまいます。レスリングや体操も、ピアノのように３，４歳くらいから始めるそうです。まさにその人の人生そのもの。オリンピックも３度目の挑戦となると、その体力と精神力の持続には相当のエネルギーと、ただならぬ努力が必要となってくるに違いありません。その背景があるからこそ、見る者にさわやかな風を送り込んでくれるのでしょうね。

私自身を振り返ってみますと、紆余曲折ありながらも、なんとか今日までフルートを続けることが出来ました。年を追うごとに、続けることの難しさを実感しています。音楽に取り組む姿勢も、月日と共に少しずつ変わってきました。コンサートに出演させてもらっても、昔は自分の演奏の出来、不出来で頭がいっぱいでしたが、最近はコンサートは周囲の人の支えなしには成り立たないものだ、ということをしみじみ感じるようになりました。舞台に立つのは演奏家ですが、それを実現させるためには何十人もの人々の手が加わっていること、それに気づける余裕ができ、そして今は感謝の気持ちを持ってコンサートに挑めるようになりました。これからも音楽と共に自分が成長して行ければ、と思っています。



「ＮＰＯ法人ゆずりは」は、音楽家の支えとして一役買ってくれる有り難い機関です。あらためて感謝すると共に、今後に期待を寄せたいと思います。

ゆずりはコンサートによせて

喜多　ちひろ
（県立西宮高校音楽科 18 期生）

春を呼ぶ雨が降っていた３月 23 日、ゆずりはコンサートが開催され、私は弦楽四重奏で出演しました。事前に連絡をいただき、なんと私たちの演奏でコンサートが始まることがわかりました。私たちの音がゆずりはコンサートの最初の音になるんだと思うと、責任を感じると同時に、その大役を任せてくださったことをうれしく思い、本番がとても楽しみになりました。

コンサート当日はリハーサルから終演まで、ずっと刺激に満ち溢れていました。第一線で活躍されている先生や先輩、まぶしいほどの勢いで成長している後輩、切磋琢磨してきた同級生が集まるわけですから、おもしろくないはずがありません。ずっと先輩の大きな背中を追いかけてきましたが、気が付けば後輩もたくさんいます。そろそろ見せられる背中にならなくては、と決意しました。

最近は芸術が軽んじられる風潮にありますが、その中でゆずりはが立ち上げられたことには大きな意義があり、私たちにとっては励ましとなります。これからゆずりはが芸術を学ぶ人なら誰でも抱えるであろう不安を受け止め、支えてくれる大木のような存在になっていってくれることを期待しています。

ゆずりはのお姉さんがやってきた！

芦屋市立打出保育所

ゆずりはのお姉さんが僕たちの保育所にやってきてくれました！ 僕たちは一歳児から五歳児まで 116 人です。みんなが共同室でお姉さんを前にして集まりました。

先生が「今日はゆずりはのお姉さんと音楽で遊ぼうね」って言ってたけど、音楽で遊ぶことがどんなことかよくわかりませんでした。始まると、二人でピアノを弾いてくれたり、踊ったり歌ってくれたり、一緒に歌って楽しくなりました。一人のお姉さんが歌を歌ったその時は、お話をしてくれているみたいで黙って聞いていました。フルートの音もきれいでした。カズーっていう笛みたいなのは、変な音で面白かったです。僕もやりたいなと思いました。お姉さんもだんだん僕たちの方に近づいてきてくれて、手が届きそうと思ったらおしまいでした。もう一度聴きたいなと思いました。ゆずりはのお姉さん、ありがとう！

（３月に訪問した打出保育所の尾崎京子先生が、子どもたちの視点に立って文章を書いてくださいました。）

「芸術すること」

秋元　孝介（県西音楽科 27 期生）

僕は３月の第１回ゆずりはコンサートに出演させて頂きました。ゆずりはの設立記念コンサートへの出演ということもあり、その責任を感じとても緊張しましたが、たくさんの方々から温かい拍手を頂き、無事演奏を終えることができました。

そしてその３月に、僕は県西を卒業し大学生になりました。新しい土地で新しい人々に出会い、新しい教養を吸収していくのですが、僕が大学生となった今でも県西在学中から変わらないように心掛けていることがあります。それは愛情と熱意を持って芸術に触れるということです。これから大人になっていくにつれて、芸術を学ぶこと以外にも様々な困難や難題が立ちはだかると思います。しかし、そのような時にこそ自分の全てを捧げる芸術を心からの愛情と熱意を持って向き合えば、自分をさらなる高みへと連れていってくれると信じています。

僕の生涯をかけての目標は、作品そのものが持つ真の美の再生です。何百年も前に生まれた作品を、時代を超えて再び息を吹き込み、あたかも今この瞬間に生まれたかのようにその美を再現することです。そしてたくさんの方々に作品そのものが持つ魅力を感じて頂き、皆さんも一緒にその作品を心から愛してほしいなと思っています。僕は皆さんに作品の真の美をお伝えできますように、これからも愛情と熱意を持って勉強を続けていきたいと思います。ありがとうございました。

保護者の立場から思うこと

河村　志真（県西音楽科 28 期生保護者）

今からさかのぼること二年。新入生の保護者としてその設立について伺った「関西文化支援の森ゆずりは」。お話を聞いた当初は、その内容の大きさに設立が実現するのかさえ危ぶんだのですが、現在見事にＮＰＯ法人としてその活動を広げておられます。その中心となり支えてくださっている理事の方々のご苦労、ご努力に、ただただ頭が下がる思いでおります。

昨年、近所の県立高校が、毎年地域との交流を深めるために開催しているコンサートに「ゆずりは」からの 紹介で県西の卒業生が出演されました。体育館の屋根に当たる本来は無粋なはずの雨音をも味方につけた素敵な演奏に、近隣の方たちが感激されていました。

現在、我が家の娘は県西の三年生。楽器の練習、苦手科目の克服、進路についてなど、目の前の難題に四苦八苦しています。その横で親である私は、予測のつかない彼女の将来に気をもむだけで何もしてやれません。「ゆずりは」の存在は娘にとってだけでなく、私にとっても心強いものです。

そして今後も、未来の大演奏家たちのパフォーマンスを他のクラシックファンより一足早く見聴きする機会をあたえてくださること、期待しております。

これまでの主な活動

平成23年

- 10／22　三田西陵高校 ふれ愛コンサート
- 11／6　スタインウェイピアノ工房見学
- 11／11　近畿中央病院コンサート
- 11／16　尼崎稲園高校 芸術鑑賞
- 12／22　西宮南高校 フレッシュコンサート
- 12／23・25　北野プラザ六甲荘Ｘｍａｓライブ

平成24年

- 3／1　芦屋市立打出保育所 訪問演奏会
- 3／7　西逆瀬川自治会館 水曜サロン
- 3／17　西逆瀬川自治会館 春待ちコンサート
- 3／23　ゆずりはコンサート（松方ホール）
- 5／22　県立西宮高校14回生同窓会
- 6／2　県立西宮高校16回生同窓会
- 6／17　神戸市立小寺小学校保護者会主催演奏会
- 8／10　北野プラザ六甲荘クラシックライブ
- 8／11　関西保育福祉専門学校卒後研修会

ゆずりは会員・登録演奏家募集！

ゆずりはでは、随時会員を募集するとともに、会員のうちゆずりはでの演奏活動を希望される方には、ホームページで演奏家登録をしていただくことになりました。学校、ホテルなど各所から演奏依頼があった場合、またゆずりは主催のコンサートを行う場合には、演奏家登録をしていただいた方から順次お声を掛け、出演していただきます。詳細はホームページにてご案内しておりますので、どうぞ下記のURLにどんどんアクセスしてください！

http://yuzuriha-art.or.jp/

☆☆☆　イベント情報　☆☆☆

《2012年》　＊印は一般鑑賞可

9 月　14 日（金）＊ホテル北野プラザ六甲荘　クラシックライブ
（以後毎月、第2金曜日に演奏者・プログラムを変えて出演）
※ 予約Tel. 078-241-2451

10 月　12 日（金）＊近畿中央病院 オータムコンサート　（病院講堂にて、入場無料）
※ 患者様優先ですので、座席に余裕がない場合は立ち見でご覧ください。

10 月　14 日（日）県立阪神昆陽高等学校・県立昆陽特別支援学校の合同開校記念式典　（体育館）

10 月　20 日（土）＊県立三田西陵高等学校 ふれ愛コンサート　（体育館）

11 月　2 日（金）関西保育福祉専門学校 芸術鑑賞会　（尼崎ピッコロシアター）

11 月　10 日（土）＊向井華奈子モダンダンスリサイタル　（新神戸オリエンタル劇場）

11 月　23 日（金）神戸大学発達科学部中等教育学校 芸術鑑賞会

12 月　19 日（水）県立兵庫高等学校 芸術鑑賞会　（神戸文化ホール中ホール）

※ その他、自治会や保育所への訪問演奏も予定しています。
また、現在、新響楽器楽器西宮北口オーパス店にて開催する
定期的な演奏会を企画中です。

※ 秋には、フルーティスト＆ボディマップアンドーバーエデュケーターズの長井芽乃さんによる講演会も予定しています。音楽家ならだれでも知っておきたい体のことについて、いっしょに勉強しましょう！

《2013年》　＊第2回　ゆずりはコンサート
※ 只今企画中です。詳細は、追ってホームページでお知らせします。

★★★★★★★出演依頼受付中★★★★★★★

学校や地域の催し、パーティなどを企画されている団体・個人の方、ぜひその催しの中に私どもゆずりはの音楽を取り入れてみてください！心のこもった催しに、さらに花を添えるお手伝いをいたします！

★事務局ボランティア・コンサートスタッフ募集★

事務局やコンサートのお手伝いをしてくださる方を募集しています。演奏会をバックアップするやりがいのあるお仕事です。ぜひご協力ください！ 詳細はホームページをご覧下さい。

音楽がとけ込む街の風景 vol．2 ♪

神戸三宮駅の目の前に、クラシックの生演奏を聴かせてくれるライブバー「ピアジュリアン」があります。社長の近藤英二さんは、神戸高校の陸上部出身。スポーツを愛するのと同様に音楽を聴くことが大好たそうです。平成８年に出店してから、これまでに出演した人の数は延べ 15000 人にものぼるとか。その中には、国内外で活躍する著名なアーティストもいます。まだまだ勉強中の芸大生も、ピアジュリアンの舞台に立つことは憧れで、ここで演奏することにより、多くのことを学ぶといいます。

笑顔が素敵な近藤社長

「人の前で演奏することの楽しさを覚えてほしい。」「音楽は人と人とをつなぐ接着剤。好きでやるのが一番だ。」とおっしゃる近藤社長。お話を伺って、音楽そのものを楽しむことはもちろん、音楽を通して出会う人とのつながりが大切なんだということを、強く感じました。よい音楽と、素敵な人との出会い、そして美味しいお料理とお酒が楽しめるピアジュリアン。一度行ったら必ず、もう一度行きたいと思えるお店です。（Ａ・Ｋ）

取材協力　ピアジュリアン　17：00 ～ 24：00　神戸市中央区加納町 4-3-2　℡：078-391-8081

発行・お問い合わせ先：特定非営利活動法人　関西芸術文化支援の森ゆずりは
Tel. 080-3760-4023　　E-mail：　yuzuriha-art@softbank.ne.jp